

あさまる通信



ASA

※プレゼントは裏面にあります。

◆NPO法人ならしの子ども劇場

「NPO法人」。最近テレビなどのメディアで耳にする事も多くなりました。しかし正確な意味や活動内容を知っている方は多くはないでしょう。NPO法の正式名称は「特定非営利活動促進法」といい、特別法として1998年3月に成立し、同年12月に施行されました。この法律の定めるところにより、特定非営利活動を行う事を主たる目的に設立された団体がNPO法人です。習志野市にもいくつかのNPO法人があります。その中で、「ならしの子ども劇場」の菅井さんと三浦さんにお話を伺って来ました。

「NPO法人ならしの子ども劇場」は人間性を育む自主的・創造的・文化的な体験活動を行い「子どもにとっての豊かな地域社会づくり」に寄与する為に設立されました。ならしの子ども劇場は23年前から活動しています。そして4年前にNPO法人の認証を受けました。主な活動は子育て支援・体験活動・芸術文化体験活動です。いろいろな活動がある中、今回は子育て支援活動のことをお伝えします。

子育て支援活動ではプチプチモデル(0〜2才対象)、プチモデル(2〜4才の未就園児対象)、モデル(4〜6才の幼稚園児対象)、mamásモデル(お母さん対象)と成長過程に合わせたきめ細かな活動を毎月行っており、随時参加者を募集しています。「モデル」という言葉の意味は、活動を通して様々な種蒔きをしてやがて豊かな人間的「芽が出る」「モデル」となります。他にも秋から翌春までの半年間、固定メンバーでの子育て講座「ふれあいリズムミック」も毎年行っています。「ふれあいリズムミック」は

親子でふれあい、音楽などに合わせてからだも開放して親子のスキンシップをはかる遊びで、只今募集中です。

高度成長が進む中、子ども達は「時間・空間・仲間」という三つの間を失い、そんな状況に危機感をいだき、子ども達自ら育ち合う実践の場とすぐれた芸術にふれる文化体験の場をつくらうと始めたのが子ども劇場の原点です。ならしの子ども劇場では、社会のニーズにより、乳幼児の親子のための活動も拡充してきました。まずは、親子の共通体験を大切にしようと「モデル」からスタートしました。さらに、お母さんが乳幼児を連れて、安心して出掛けられる場所をという思いでプチモデルなど親子がふれあう場を作りました。そこではお母さん同士がくつろいで話をしたり、ほっとできるような雰囲気作りを大切にされています。また、同年齢の子どもの集まりでは、よその子と我が子と比較してしまいがちですが、先輩ママや異年齢の子ども達と接することにより、子どもの成長の道すじを感じる事ができているようです。



次回はならしの子ども劇場の子育て支援の、さらに具体的な活動内容をお知らせします。

◆CAP(子どもへの暴力防止プログラム)のワークショップを左記日程にて開催します。

日程	対象	定員	場所	受付時間
11/16(火)	おとな	30人	谷津公民館	9:30~
11/28(日)	4・5歳児	15人	サンロード5F	10:00~
12/5(日)	4・5歳児	15人	サンロード5F	10:00~
11/17(水)	おとな	30人	サンロード5F	9:30~
12/4(土)	おとな	30人	サンロード5F	9:30~
12/4(土)	1・2年生	30人	ならしの子ども劇場事務所	14:15~
12/12(日)	3・4年生	30人	ならしの子ども劇場事務所	10:15~

お問い合わせ先：NPO法人ならしの子ども劇場事務局
TEL・FAX 047(451)3676

天然活性水素水
日田天領水
活性酸素と戦う水
代引にて、商品をご自宅までお届け致します。
詳しくは、習志野販売(株)まで、お問い合わせ下さい。

あさまるinfo

◆きらっと映画祭～50年、時代を結ぶメッセージ～
期日：10月17日(日)
会場：習志野文化ホール(JR津田沼駅近く)
時間：第一部「ゴジラ」10:00(入場)/10:30(開演)
第二部「二十四の瞳」12:30(入場)/13:00(開演)
入場料：各300円(第一部、第二部は入れ替え制)
・ゴジラ...50年前の昭和29年に誕生した「ゴジラ」。世界の映画界に驚きをもたらした円谷英二氏の特殊撮影。その「ゴジラ」の記念すべき第一作を今回は上映します。
・二十四の瞳...壺井栄原作の名作の映画化。大石先生と十二人のこどもたちが、瀬戸内海の小豆島に、歴史の流れと厳しい時代の風雪に耐えてくりひろげられる、愛と感動の映画です。昭和29年のブルーリボン賞の作品賞・脚本賞を、高峯秀子が主演女優賞を受賞した作品です。

チケットは、市役所、各公民館、文化ホール等で販売しています。(裏面に読者プレゼントあります)

◆津田沼1丁目商店会フリーマーケット
日時：10月17日(日) 10:00～15:00
会場：新京成「新津田沼駅」2階通路(屋根付会場)
コンサートはいかが!!

◆アルパ(パラグアイハープ)演奏会
日時：11月5日(金) 13:00から
会場：レトロ・不二(JR新検見川駅から徒歩5分)
料金：1,800円(コーヒーOR紅茶、クッキー付き)
出演：河村みどり(日本の第一人者、ロシア塩満の弟子)
・アルパ...16-17世紀の大航海時代に中南米にもたらされたスペインのハープ(楽器)です。普通のハープと違って半音操作用のペダル装置など持たず、左手の指にはめたジャベといわれる器具で弦の長さを調節します。また、クラシックハープと違い木製の製品が多く、弦を爪で弾くのできらめくような音色が特徴です。
問い合わせ先：レトロ・不二 電話：043-271-8715
パラグアイの民族音楽を心ゆくまでお楽しみ下さい!!



◆中学生職業体験実習

9月8日(水)習志野市立第三中学校から「職場体験学習」の為に元気な7名の生徒さんが弊社に訪れました。これは将来の職業生活に向けて多くの情報や知識を得る事が望ましく進路選択の上で大切と考え、共に、一人の人間として生きていく上でも重要な意味を持つと考え、今回初めての試みとして行われました。「職場体験学習」は、まず生徒は自分の興味のある職業を選択し、テーマを決めて実習を行います。

当日参加したのは男子4名(習志野袖ヶ浦店)、女子3名(谷津店)です。それぞれの店で実際に新聞に関する作業を体験し見学すると、今まで知らなかった事を目の当たりにして「新聞屋さんってかっこいい!」と驚いてくれました。新聞



しました。普通の会社員のサイクルと違うのが興味深いのでしよう。従業員は夜中の1時から次の日の夜まで休憩を入れながら働きます。それにも驚いたようです。楽しく職場体験をした生徒さんを見て、従業員一同とても充実した一日でした。

を配達する仕事以外にも機械で折込チラシをまとめたり、営業したりしているのを知り生徒さん達もその大変さはわかってもらえたようです。実際に生徒さんが昼間行われる作業を体験しました。折込チラシをまとめる作業ではアドバイスを受けコツがわかると、時間を忘れて楽しく作業していたようです。また夕刊には配達にも同行しました。従業員の後を自転車で付いていきます。1軒1軒間違えずに配る姿も頼もしく感じられました。従業員に質問する内容も「新聞配達をする時間」に集中